

## センター4 初期議会・条約改正・日清戦争

【近代 05】(2007 年・本)初期議会。

1. 政府は詔勅により、民党の反対を抑え、予算を成立させた。
2. 第1回帝国議会では、自由党の一部が予算成立に協力した。
3. 民権派の再結集に対して、政府は超然主義の立場を声明した。

答➡

初期議会 ➡ 第一議会、第二議会、第2回総選挙の内容が問われるぞ！

議会	首相	事項
		衆議院議員選挙法制定 1889 【 】以上男子・直接国税【 】以上納入者に選挙権 【 】…政府の政策は政党の意向に左右されない
第一議会		第1回総選挙 1890… <b>民党</b> (反政府系)が過半数以上 山県首相は軍事費の拡大を要求 民党側は「【 】・【 】」主張して反発 ➔政府が <b>民党</b> の一部を買収し、一部予算案を可決
第二議会		民党は軍艦建造費の予算削減を主張 政府は軍艦建造費を含む予算案を主張 ➔対立…【 】海相の蛮勇演説➔予算削減 ➔政府が <b>民党</b> の予算削減に同意せず、衆議院解散
		【 】内相らの選挙干渉➔民党勢力は覆せず 第三臨時議会も予算案対立、選挙干渉非難で総辞職
第三議会		松方内閣の退陣
第四議会		予算削減➔【 】で予算成立
第五議会		条約改正交渉で対立構図が変わる 政府・自由党(条約調印賛成派) 改進黨・国民協会など(条約調印反対派) ➔【 】 解散に次ぐ解散
第六議会		日清戦争勃発により政争中止

【近代 06】(2004 年・追)欧米文化の摂取。

1. 岩倉具視を全権大使とする遣外使節団が、欧米に向けて出発した。
2. 多くの外国人教師を指導者として招き、東京大学が開設された。
3. 鹿鳴館が、外国要人接待の社交場として使用された。

答➡

【近代 07】(2001 年・本・改)明治期のアジア外交。

1. 天津条約が結ばれ、日清両軍の朝鮮からの撤兵などが定められた。
2. 日本は江華島事件を機に朝鮮との間で日朝修好条規を結んだ。
3. 朝鮮で国王の父大院君が閔氏一族から政権を奪おうとし反乱を起こしたが失敗した。

答➡

### ●条約改正

担当者	首相	交渉内容など
【 】		1871～73【 】
【 】		【 】回復を主眼 アメリカ賛成、イギリス・ドイツ反対で失敗
【 】	伊藤博文	【 】政策 ➔ 鹿鳴館の建設、政府部内の反対 領事裁判権の回復、関税自主権の一部回復を主眼 改正草案…回復後、 <b>内地雑居</b> ・法典整備・過半数の <b>外国人裁判官任用</b> 1866×【 】 ➔ 条約への不満拡大 国内の反発 ➔ <b>ボアソナード</b> ・ <b>谷千城</b> 農商務省 【 】 ➔ 井上、外相辞任
【 】	黒田清隆	領事裁判権の回復、関税自主権の一部回復を主眼 米・独・露と条約調印 「……………」がスクープ 大隈暗殺未遂で片足を失う ➔ 黒田内閣総辞職
【 】	山県有朋 松方正義	領事裁判権の回復と関税自主権の一部回復を主眼 方針転換ー外国人裁判官を大審院に任用しない など イギリスと交渉妥結…ロシアの東アジア進出に警戒 【 】で辞任 ➔ 犯人の津田三蔵は法律に基づき無期徒刑
【 】	伊藤博文	1894【 】…自由党の支持を受ける <b>領事裁判権撤廃、関税自主権の一部回復</b> 、居留地の廃止、 相互対等の最恵国待遇、1899 年発効で有効期間は 12 年
【 】	桂太郎	1911【 】締結 ➔ <b>関税自主権の回復</b> に成功

武器としての日本史

Pain is inevitable Suffering is optional

【近代】2009 追

日清戦争の講和条約に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 条約交渉の日本全権は伊藤博文・陸奥宗光であった。
- ② 日本は台湾と澎湖諸島を割譲させた。
- ③ 日本は遼東半島を割譲させたが、のちに返還した。
- ④ 日本は清からの賠償金をもとに官営富岡製糸場を設立した。

答➡

●日清戦争

1880年代 朝鮮問題	<p>朝鮮問題 開国後の朝鮮…貿易は日本の輸出超過、米の買い付けで朝鮮国内は米不足</p> <p>1882✕【 】 ⇒親日派の<b>閔妃一族</b>に対し、守旧派兵士が<b>大院君</b>を担いでクーデター 【.....】条約後、閔妃派は清とのつながりを強める</p> <p>1884✕【 】 ⇒閔氏親日派から親清派に転じたことに注目 <b>閔妃政権</b>(親清派)と【 】(親日派、【 】ら)の対立 清仏戦争後にクーデター、清の干渉で失敗 漢城条約(1885、朝鮮)</p> <p>1885【 】…伊藤博文と李鴻章 日清両軍の朝鮮撤退、<b>将来の出兵時は相互通告</b> 日本国内の世論の転換…福沢諭吉の【 】</p>
1890年代 日清戦争	<p>1889【.....】事件—朝鮮で凶作、大豆・米の対日輸出禁止で打撃 ➡賠償金支払いで承認</p> <p>1894✕【 】(朝鮮) ➡東学が農民を率いて大規模な反乱に発展 清が救援出兵、日本も対抗して出兵 ↓終了後も両軍が対峙</p> <p>1894✕【 】…豊島沖海戦などで開戦→宣戦布告 平壤の戦い、黄海海戦、大連・旅順占領、威海衛占領 戦局…日本の圧倒的優位、政党の政府批判中止、戦費は約2億円</p> <p>1895【 】 ➡日本側全権—<b>伊藤博文</b>首相、<b>陸奥宗光</b>外相 清国側全権—【 】</p> <p>内容 <b>清国は朝鮮独立の承認</b>、【 】・【 】、澎湖諸島の割譲、賠償金【 】(3億1千万)支払 沙市、重慶、蘇州、杭州の開港</p>

●日清戦争後の議会

第2次【 】	【 】と提携、【 】内務大臣 ⇒軍備拡張をめざす政府は政党を無視できなくなったのだ。
第2次【 】	【 】と提携、【 】外務大臣
第3次【 】	<b>地租増徴案</b> 提出⇒自由・進歩両党の反発⇒【 】の結成 ⇒地租を払っているのは地主たちのみ
第1次【 】	<b>初の政党内閣</b> 、憲政党与党、大隈外相兼任・板垣内相(.....)
第2次【 】	1898 <b>地租増徴案可決</b> ⇒2.5%⇒【 】へ 1899【 文官任用令 】改正⇒政党員が官僚に進出するのを防ぐ 1900【 軍部大臣現役武官制 】⇒陸海軍大臣は